

主な登場人物に  
焦点を絞り  
核心に迫る  
名作オペラの

# TRAGIC TRILOGY

トラジック・トリロジー

## III 「蝶々夫人」

ピンカートン  
城宏憲

シャープレス  
大西宇宙

蝶々夫人  
青木エマ



特別出演  
スズキ  
山下裕賀

© FUKAYA\_Yoshinobu/auraY2

2023  
12/8 [金]

15:00 開演 (14:30 開場)  
Hakuju Hall  
全席指定 7,000 円 (税込)

Program G.プッチーニ：歌劇「蝶々夫人」全3幕

声楽にふさわしい音響空間として定評があるHakuju Hallが名作オペラの魅力をお届けするシリーズ。  
田尾下哲が演出・脚本を手掛け、単なるハイライト上演にとどめず原作にあるセリフや設定を借りてオペラを再編成、主な登場人物に焦点を当てた緊密な心理劇をお楽しみください。

©北山宏一

音楽監督/ピアノ 園田隆一郎 演出/脚本 田尾下哲

チケットお申し込み

Hakuju Hall チケットセンター 03-5478-8700 11:00~17:00 (火~金 ※祝日・休館日を除く)  
オンラインチケット予約 <https://hakujuhall.jp>  
■ローソンチケット <https://1-tike.com/> ■イープラス <https://eplus.jp>

主催公演一覧  
チケット購入



先行発売日  
2023年7月8日(土)

一般発売日  
2023年7月15日(土)

I G.ヴェルディ：歌劇「椿姫」(2021年)

II G.プッチーニ：歌劇「トスカ」(2022年)

III G.プッチーニ：歌劇「蝶々夫人」(2023年)

●21世紀の『蝶々夫人』 21世紀にプッチーニ作曲『蝶々夫人』を上演する難しさは、音楽の難しさよりもその題材、そして日本の、日本人の描かれ方にあります。日本人に対する誤解や偏見、そして植民地主義ともいえるピンカーンの態度に気分を害する方も多いと思います。それでも尚この作品を取り上げるのは、20世紀、そして現在までの日本人、アジア人オペラ歌手の西洋における活躍の場を広げた作品だからでは決してありません。偏った視点からの物語であっても、その中で凛と立つ蝶々さんの精神、そしてスズキの献身がプッチーニの音楽と合わさって、全てを超越

して心をつつからです。私たちは差別に対してNOを言い続けなければなりません。ならばこそきちんと間違った姿勢に対してNOを言えるように、『蝶々夫人』をピンカーンの後悔と反省で終わらせるのではなく、蝶々さんの心情を追うことで差別の愚かさや不当を描きたいと思います。TRAGIC TRILOGYとしてこれまで『椿姫』、『トスカ』3名の歌手で上演して参りましたが、今回はスズキ役が音楽、ドラマ面両面で必要ですので、山下裕賀さんをお願いさせて頂きました。三部作の最後を飾る1890年代の長崎を舞台とした欧米作品『蝶々夫人』を是非、ご覧下さい。—— 田尾下哲



青木エマ (ソプラノ)

Emma Aoki, soprano

国立音楽大学卒業。二期会オペラ研修所マスタークラスを優秀賞受賞し修了。第12回日本演奏家コンクール最高位。これまでに『トスカ』タイトルロール、『ラ・ボエーム』ミミ、『カルメン』ミカエラ等を演じ、西本智実プロデュース『蝶々夫人』ではタイトルロールで好評を博す。他にも二期会『フィガロの結婚』ケルビーノ、同『こうもり』オルロフスキー等。コンサートでは田尾下哲による新演出『マイタイ受難曲』や『第九』等でソリストを務める。二期会会員。



城宏憲 (テノール)

Hironori Jo, tenor

東京藝術大学卒業。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁派遣により渡伊。二期会『トスカ』、『ノルマ』、『椿姫』、『蝶々夫人』、『トゥランドット』、グラントオペラ共同制作『アイダ』、『カルメン』、日生劇場『ランメルモールのルチア』(演出:田尾下哲)、新国立劇場『さまよえるオランダ人』エリック等プリモ・テノールとして活躍。2023年10月、二期会『ドンカルロ』に表題役で出演予定。第84回日本音楽コンクール第1位及び岩谷賞、第8回静岡国際オペラコンクール三浦環特別賞等受賞多数。二期会会員。



大西宇宙 (バリトン)

Takaaki Onishi, baritone

ジュリアード音楽院卒。シカゴ・リリック歌劇場で研鑽。『エフゲニー・オネーギン』で日本オペラ・デビュー。2023年はびわ湖ホール「ニュルンベルクのマイスタージンガー」(沼尻竜典指揮)、東京・春・音楽祭「仮面舞踏会」(R.ムーティ指揮)にて好演。7月に兵庫県立芸術文化センター「ドン・ジョヴァンニ」(題名役/佐渡裕指揮)に出演予定。CDは「詩人の恋」(ピアノ:小林道夫/BRAVO RECORDSより)。五島記念文化賞オペラ新人賞、日本製鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞。



山下裕賀 (メゾソプラノ)

Hiroka Yamashita, mezzo-soprano

京都府出身。東京藝術大学声楽科卒業。同大学院修士課程オペラ専攻を首席修了。第21回コンセル・マロニエ21第1位。オペラでは、日生劇場主催『カプレーティ』とモンテッキ『ロメオとジュリエット』の理髪師ロジナ役など、多数に出演。その他のコンサートでは、ヘンデル『メサイア』、ヴェルディ『レクイエム』、ヤナーチェク『グラゴルミサ』(大野和士指揮・東京都交響楽団)などでソリストを務める。日本声楽アカデミー会員。



園田隆一郎 (音楽監督/ピアノ)

Ryuichiro Sonoda, music director / piano

2006年、シエナのキジアーナ夏季音楽週間『トスカ』を指揮してデビュー。翌年、藤原歌劇団『ラ・ボエーム』で日本デビュー。同年ペーザロのロシア・オペラ・フェスティバル『ランスへの旅』を指揮。その後、国内外のオペラへの出演、オーケストラとの共演を重ねている。第16回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第73回芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。藤沢市民オペラ芸術監督。パシフィックフィルハーモニア東京 指揮者。



田尾下哲 (演出/脚本)

Tetsu Taoshita, director / dialogue by

1972年兵庫生まれ、横浜育ち。第20回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。ドイツ人演出家ミハエル・ハンペに西洋演劇、演出を学ぶ。近年の演出作はオペラでは日生劇場『ルチア』、共同オペラ『カルメン』、神奈川県民ホール『金閣寺』、あいちトリエンナーレ『蝶々夫人』、二期会『カヴァレリア/道化師』などがある。今後もオペラ、ミュージカル、芝居の演出の他、海外での劇作が控えている。

## 朝日カルチャーセンター新宿教室との提携講座 プッチーニ「蝶々夫人」をもっと楽しむために

オンラインと  
教室で  
同時開催

日程 9/29(金) 16:00~17:30

会場 朝日カルチャーセンター新宿教室 (東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル10階)

講師 園田隆一郎 (音楽監督/ピアノ)、青木エマ (ソプラノ)

講座受講料 朝日カルチャーセンター会員: 3,553円 (税込)

一般: 4,653円 (税込)

(入会金は5,500円(税込)  
70歳以上は入会無料、  
証明書が必要です。)

主催: 朝日カルチャーセンター新宿教室 <https://www.asahiculture.jp/shinjuku> お問合せ 03-3344-1941 10:30~18:30 (日曜・一部祝日を除く)

協力: Hakuju Hall / 株式会社 白寿生科学研究所 ※Hakuju Hall チケットセンターでのお取り扱いはありません。

講座受付開始日: 5/19(金)



〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-37-5 (電車) ●代々木公園駅(千代田線) 出口1より徒歩5分 ●代々木八幡駅(小田急線) 南口より徒歩5分

TEL 03-5478-8867

(バス) ●富ヶ谷バス停下車 徒歩1分(渋谷駅西口バスターミナルより10分) ※渋谷(中野行)、渋谷(中野行)、渋谷(阿佐ヶ谷行)、渋谷(環状線)

LINE **LINEお友だち限定** 先行発売日よりオンラインでご購入いただけるほか、主催公演情報をいち早くお届けいたします。

友だち追加はこちらから!  
@hakujuhall

### ご購入時の留意点

- 新型コロナウイルス感染症の状況に応じ、チケット発売や公演が延期または中止となる場合がございます。
- 座席は通常配席でございますので前後左右の間隔は空いておりません(今後の状況により変更となる場合がございます)。
- 公演中止の場合を除き、出演者・曲目・曲順の変更及びお客様のご都合によるチケットの払戻しはいたしかねます。
- 最後列Q列はリクライニング席となります(チケット料金は変わりません)。
- 一度ご予約・ご購入いただいたチケットの変更、キャンセルはできません。
- 未就学児の入場はご遠慮ください。
- 車椅子でご来場のお客様はあらかじめHakuju Hallまでご連絡ください。
- ホールに駐車場はございません。